

## プロジェクト課題活動実績

### 課題名：阿知須地域における受け皿法人設立を契機とした法人間連携強化の取組

山口農林事務所農業部 チーム員： 橋本 杉本 来島 宮崎

#### <活動事例の要旨>

- 阿知須地域では「阿知須地域農業農村活性化センター（以下活性化センターという）」を中心に、集落営農法人の設立・運営支援を進めてきた。
- 平成 26 年度に地域内の農業者に対して、営農意向アンケートを実施したところ、集落営農法人や認定農業者の受入能力以上の農地が出てくる可能性があることが判明した。
- 地区内農業者で構成する「阿知須地域農業システム協議会」において、新たな受け皿組織の必要性について話し合いを行い、「阿知須の農地を守るための提案」として方針決定された。平成 27 年 5 月に、新たな受け皿組織として「(株) A」が設立された。
- また、各集落営農法人では、オペレーターの高齢化への対応や米価低迷による一層のコスト低減が必要となる。こうした中、複数の集落営農法人が協力して課題解決を目指す、いわゆる法人間連携の取り組みを支援した。

#### 1 普及活動の課題・目標

- 法人間連携の強化支援
- 新たな受け皿組織設立支援

#### 2 普及活動の内容

- (1) 法人間連携強化に向けた取り組み支援
  - ア 阿知須地域法人連携協議会の協議促進
    - ・ 阿知須地域法人連携協議会を対象に、法人間連携強化に向けた取り組みを提案した。
    - ・ 阿知須地域の集落営農法人（4 法人）の機械の稼働状況等を調査し、その結果を基に法人連携協議会で話し合いを実施した。
  - イ 「人・農地プラン」の見直しについて
    - ・ 活性化センターにおいて、人・農地プランの見直しについて検討し、地域をブロックに分けて、各地域の中核的な担い手（集落営農法人、認定農業者、新規就業者等）を参集して協議を行った。

(2) 新たな受け皿組織の設立支援

- ・ 阿知須地域の新たな受け皿組織として、「(株)A」の設立支援を行った。

### 3 普及活動の成果

(1) 法人間連携強化に向けた協議促進

- ・ 阿知須地域法人連携協議会において、法人間の機械共同利用等に取り組む母体として集落営農法人連合体の設立を提案し、機械稼働状況の調査結果等を基に、協議を行った。
- ・ 活性化センターでは、集落営農法人連合体に前向きな集落営農法人等をモデルに、法人連合体の検討を進めていくことになった。
- ・ 地域ごとの担い手を参集し、「人・農地プラン」の見直しについて意見交換が実施され、今後、担い手間の分散錯ほの解消等に取り組んでいくことになった。



「人・農地プラン」検討会

(2) 新たな受け皿組織の設立支援

- ・ 新たな受け皿組織として、今年度の5月に「(株)A」が設立された。
- ・ 当初「(株)A」の経営面積は約4ヘクタールで開始されたが、活性化センターにおいて、出し手希望者へのPR等により、今年度末までに経営面積は倍増した。
- ・ 「(株)A」を集落営農法人連合体の中核的組織として検討を進めることになった。

### 4 今後の普及活動に向けて

- ・ 来年度、複数の集落営農法人をモデルに集落営農法人連合体の育成に取り組む。
- ・ 集落営農法人連合体の育成には、県集落営農法人連携協議会が開発した農作業管理・ほ場管理システムを活用して行う。



農作業管理・ほ場管理システム研修